

# 校内研修計画

山梨市立後屋敷小学校

## 1. 研究主題と副主題について

### 『思考力、判断力、表現力の育成』

～国語科・算数科・英語科における言語活動の充実をとおして～

## 2. 主題設定の理由

### 1) 社会的な課題から

現代は政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域でのグローバル化が進んでいる。このようなグローバル化は、アイデアなど知識そのものや人材をめぐる国際競争を加速させる一方で、異なる文化との共存や国際協力の必要性を増大させている。このような状況において我が国の学校教育では、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育むことが益々重要になっている。

また、PISA など各種の調査などからは、我が国の児童生徒については、様々な課題が指摘されている。それは思考力・判断力・表現力などを問う読解力や記述問題、知識技能を活用する問題に課題があること。また、読解力で成績分布の分散が拡大しており、その背景には学習意欲、学習習慣、生活習慣に課題あること。さらに、自分の自信の欠如や自らの将来への不安、体力の低下といった点である。

このような課題は、これからの時代の学校教育において児童・生徒の育成の中で解決しなければならない問題である。実際、これらの課題解決のために新しい学習指導要領では、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成、基礎的・基本的な知識技能の習得と思考力、判断力、表現力のバランス重視、豊かな心と健やかな体の育成、という3点を柱におき、国際社会に通用する、心身ともに健康な人材の育成を進めようとしている。

### 2) 本校の児童の実態から

本校の児童は、日頃の様子から見ると明るく素直で、学習その他の活動で与えられたことには前向きによく取り組める。また、子どもらしい面も持ち合わせ、友達と元気に活動したり、上級生が下級生の面倒を見たりする姿もよく見られる。反面、一つのことじりにじっくり粘り強く取り組み集中力や、苦手なことにも挑戦しようという前向きな気持ちがやや弱く、個人差も大きい。また、与えられた課題だけでなく、自ら進んで学習に取り組もうとしたり、諦めないで取り組もうとする意欲が低い様子が見られる。さらに、休み時間のおしゃべりや他愛もない会話はできるが、自分の考えや調べたことを文章にまとめたり、分かりやすく皆の前で説明したり、発表するといったことには苦手意識を持っていて、そのことに抵抗感を感じている児童が多い。

### 3) 本年度の研究について

本年度の研究は児童の実態、研究の課題点を踏まえ、昨年度から本校で研究をスタートした「言語活動」について、今年さらには研究を深めていきたい。また、教科については昨年度の国語科、算数科を踏襲するが、さらに本年度から英語科についても「言語活動」という観点から研究の幅を広げられればと思う。

言語は思考力、判断力、表現力といった知的活動や感情や情緒、他とのコミュニケーションの基盤であり、学校生活はもちろん、現在および将来のあらゆる生活において基本となるものである。児童が言語の役割などに関心や理解を深め、身につけた言語能力が日常と密接に関わる力を育てていくためには、学校生活全体を通して言語の役割や目的にかなった言語活動ができるようにしていくことが大切であると思われる。そのためには、学習指導の中で正しい言語を用いるよう、児童の発達段階に応じた指導の充実を図りたいと思う。

ところで、具体的に言語活動といっても、調べる、記録する、要約する、説明する、論述する、討論するなど、「話す・聞く」「書く」「読む」といった多岐に渡る。本校の児童につけた力を職員全員で考え、そのために各教科でどのような言語活動が考えられ、どのような方法をとることがベストなのかといった研究を進めていきたいと思う。また、言語は周囲の環境の影響を大きく受けやすいと思われる。そのために図書室の有効活用や、普段でも正しい挨拶や適切な言葉で話したりできる環境を意識して作っていきたい。そして、PDCAのサイクルを大切に、指導方法を常に見直しながら、より効果的な教育活動が実践していきたいと思う。

以上のように、基礎的・基本的な学習をベースにしながらも、言語活動を取り入れていくことにより、本校が目指すテーマ「思考力・判断力・表現力の育成」の目標に近づくことができればと考え、本年度は主題と副題を設定した。

## 3. 研究の内容と方法について

- 1) テーマに関わった理論や先行研究を学ぶ。
- 2) ブロック別の研究会(低・高学年の2ブロック)
- 3) 特別支援の学習会、英語の学習会(夏期休業中)

# 年 間 校 内 研 修 計 画

研究主任：飯島裕明

学期	月	日	研究内容	形 態	担当者	TC
1 期 期	4	8	校内研：24年度の方向性について 研究主題・仮説・内容・方法・計画・組織など	全体	研究主任	
		18	校内研：各ブロック研究 各ブロック長、授業者の選出、目標、課題、めざす児童像の明確化	ブロック	研究主任	
	5	7	教協総会（山梨南中）			
		16	教協研究日			
		23	校内研：各ブロックの研究（または一人一実践）	ブロック	ブロック長	
	6	6	校内研：各ブロックの研究（または一人一実践）	ブロック	ブロック長	
		13	職場厚生			
		20	教協研究日			
		27	校内研：「言語活動」について（予定）の学習会	全体	研究主任	
		7	11	校内研：各ブロックの研究（または一人一実践）	ブロック、個人	ブロック長
	8	1	教協研究日			
		6	教協北中ブロック交流会			
		15	校内研：教育課程環流学習会 各ブロックの研究（授業検討）	全体 ブロック、全体	各担当 ブロック長 特支担当	
		22	校内研：特別支援学習会	全体		
		29	教協研究日（統一授業研）			
	9	5	校内研：各ブロックの研究（授業検討）	ブロック	ブロック長	
		12	校内研：授業案全体検討（学年ブロック）	全体	授業者、ブロック長	
		26	教協研究日			
	10	3	校内研：各ブロックの研究（または一人一実践）	ブロック	ブロック長	
		10	校内研：授業研究（学年ブロック）	全体	授業者、ブロック長	
2 学 期	10	24	校内研：授業案全体検討（学年ブロック）	全体	授業者、ブロック長	
		31	校内研：各ブロックの研究（または一人一実践）	ブロック	ブロック長	
	11	7	校内研：授業研究（学年ブロック）	全体	授業者、ブロック長	
		14	教協北中ブロック交流会（山梨北中授業参観）			
		28	教協研究日			
	12	5	校内研：一人一実践と各ブロックの反省	ブロック	ブロック長	
	1	16	教協研究日			
		23	教協北中ブロック交流会（後屋敷小，岩手小授業参観）			
		30	校内研：一人一実践の全体報告，校内研の反省，紀要について	全体	授業者、研究主任	
	2	6	教協研究日（統一授業研）			
	13	教協冬期教研（山梨南中）				
	20	校内研：研究のまとめと次年度の方向性について	全体	研究主任		
	27	校内研：研究紀要作成				